



第3回かながわ教育学講座「コミュニケーション能力の育成」

令和3年11月14日、第3回かながわ教育学講座が開講されました。第3回教育学講座のテーマは「コミュニケーション能力の育成」です。講師にコアネット教育総合研究所 横浜研究室室長 福本雅俊先生をお招きしました。

講義内容

- ① コミュニケーション能力とは？
- ② なぜ「コミュニケーション能力」が課題となるのか？
- ③ 「学校」におけるコミュニケーション
- ④ 対児童・生徒のコミュニケーションにおけるポイント



福本雅俊先生

①～④で下記のようなご説明がありました。

- ① コミュニケーションは「話す側」と「聞く側」の双方の協働作業によって成り立つもの
- ② 私たちの身の周りには、「協働」が求められる場面が数多くある
- ③ 学校におけるコミュニケーションの対象は対児童・生徒、対教職員、対保護者など多岐に渡る
- ④ 教員の児童・生徒に対する関わり方はティーチング、メンタリング、コーチングの3つがあり、コーチングが大切になってくる。コーチング・スキルは児童・生徒の考えていることを引き出すスキルで、代表的な4つのスキルとして「傾聴」「限定質問と拡大質問」「反映」「認知」がある。

4. 対児童・生徒のコミュニケーションにおけるポイント

■関わり方の特徴

関わり方	児童生徒	教員	特徴
ティーチング	聞く	話す	一方通行型 コミュニケーション
メンタリング	聞く	話す	協働型 コミュニケーション
コーチング	話す	聞く	支援型 コミュニケーション

グループ活動

グループ活動では、学校生活において、子どもとのコミュニケーションが必要な場面を具体的にイメージすることを通して、子どもとのコミュニケーションにおいて、教員として大切なことや気を付けるべきことを考えました。

個人で考えた「大切なこと」や「気を付けるべきこと」を付箋に書き出し、グループで共有し、模造紙にまとめて発表しました。



受講者の感想

- コミュニケーションにおいて、自分の意見を言うだけでなく、相手の言いたいこと、話したいこと、伝えたいことをしっかり引き出し受け止め、それに対して答えることが実は最も重要であることを学ぶことができました。
- 今回の講義を通し、コミュニケーション能力における技術だけでなく、教師としての心掛けも合わせて学ぶことができました。